

# こころる便り

第293号  
令和6年8月

〒679-1434  
兵庫県たつの市新宮町大屋六六八十二  
株式会社新宮運送グループ  
代表/木南一志  
kminami@shingu.co.jp  
電話 0791-75-1212



新宮運送ホームページ

## シンプル・イズ・ベスト

厳しい暑さが続きます。どうぞ身体を大事に仕事に取り組んでください。誰かが助けてくれるわけでもありませんから、自分で守るしかありません。

予想していたことが起きてしまいました。弊社の前には栗栖川という小さな川の対岸に国道179号線が津山方面に向けて走っています。以前にもお知らせしたとおり、工事しやすいところを拡幅して、最も危ない場所が狭く、まるで重大事故を発生させるために道路整備したようなものだと言行政にも強く要望しましたが、全く改善されないうままです。その場所で、立て続けに事故が起きました。

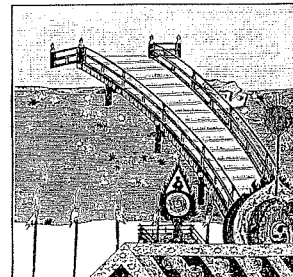
最初は軽四輪車が脱輪、河川側に転覆事故。ガードレールもないので脱輪すれば当然の結果です。次は、弊社のトラックと岡山県側からやってきたトレーラーとの接触事故です。ドライブレコーダーの映像を見ると、カーブになっていて、根こそぎ変えていくということが難しい世の中となつてしまっているのです。自民党が掲げる憲法改正は、根こそぎやり替えていく良い機会だと思えますが、いつまでもたつても実現しません。子供たちのためにと、大人は口先だけだと言われたくはありません。しかし、何とかならないものか。被災地にこころを寄せながら

木南 一志 拝

## 尋常小學國史 上巻

### 第十四 藤原氏の専横 ③

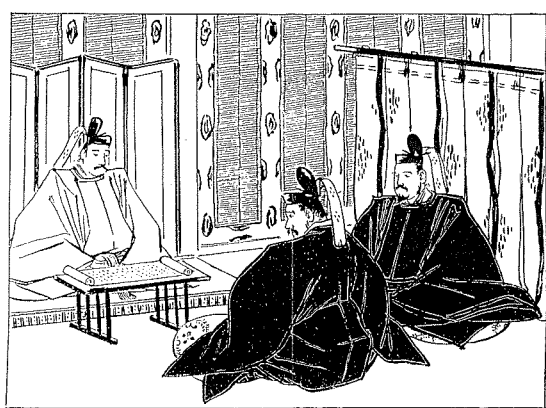
こゝに於て公卿等はきそひて日々數多の工夫を出し、國々のつかさは朝廷にたてまつるものをさしおきて、まづ此の寺の材木・瓦などをさし出せしため、工事ことの外早く出来上り、道長しばらくこゝに居りて薨せり。道長父子の朝廷をおそれたてまつらざることかくの如く、頼通及び其の弟教通も相ついで攝政・関白となりて専横をきはめたり。



### 第十五 後三條天皇 ①

藤原氏の勢の最も盛なりしは、道長と頼通との代にして、第七十 後三條天皇出でたまふに及びて、其の勢衰へ始めたり。

後三條天皇は 第七 後冷泉天皇の御弟にして、御年十二にて皇太弟となりたまひ、東宮にいませしこと二十餘年に及びり。然るに天皇の



三條天皇の御弟にして、御年十二にて皇太弟となりたまひ、東宮にいませしこと二十餘年に及びり。

御母は藤原氏にあらせられざるを以て、關白頼通は其の東宮にいますことを好まざる、勢にまかせて専横なるふるまひ多かりしが、天皇はよく之を忍びたまひ、又大江匡房を師として學問にはげみ、内外の歴史にも通じたまひし上に、殊に御生れつき厳格にまします。されば頼通は心ひそかに天皇を恐れたてまつり、天皇の御即位に先だち、關白を辭して宇治に隠居し、弟教通代りて關白となれり。